

健森応援団通信

平成28年10月3日
健森応援団事務局
第3号

アンテナショップ「森のおみせ」開店

7月6日に、JA阿新様のご協力により、新見市のAコープあしん前にアンテナショップ「森のおみせ」をオープンすることができました。開店して3ヶ月が経ちました。「いらっしゃいませ」「ありがとうございました」「また、お越しください」と心を込めて接客をしています。水曜日は施設の園生、金曜日は学校の生徒たちが運営に当たっています。

地域の皆様と園生との交流として、私たちの笑顔や元気を伝えることにより岡山県健康の森学園が地域の皆様にとってより身近な学園になればと考えています。

「森のおみせ」は、私たちが丹精込めて生産した野菜や、施設の作業や学校の作業学習で作成した製品がお客様に届く瞬間を経験できる貴重な場となっています。私たちは、お客様からお褒めの言葉や労いの言葉をいただくことで作業をする意欲がわいてきます。また、お客様から直接、商品に対する意見をいただくことで商品の質の向上を目指す姿勢も生まれてきます。

健森応援団の皆様にも「森のおみせ」への運営ボランティアのご協力をいただき、ありがとうございます。今後、園生の活躍の場がもっと充実できるように工夫を重ねるとともに、地域の皆様と園生との交流が、より広がる楽しいお店にしたいと思っております。お力添えをよろしくお願いいたします。



岡山県健康の森学園
副学園長 福岡孝美

『森のおみせ』について

- 営業日・時間
毎週水曜日 10:00～16:00
毎週金曜日 10:00～13:00
- 販売物
農産・園芸品（キャベツ、白菜・ニンジンなどの野菜、花の苗）
森のたまご、シイタケ、乾シイタケ、炭、かわいい軍手
炭丸くん（消臭剤）、廃油石けん、ハーブの手芸品 など
- ボランティア募集
『森のおみせ』の運営をお手伝いして下さるボランティアを募集しています。
問い合わせ先：岡山県健康の森学園
基礎生活班 河合（0867-96-2995）まで



哲西栗の苗の植え付け

3月19日（土）に哲西栗の生産地を目指して、岡山県農林水産総合センター森林研究所、岡山県備中県民局、哲西栗生産組合、新見市地域おこし協力隊の方々を講師に健森応援団員と園生が約40本の苗を植え付けました。



哲西栗は昭和9年、哲西町上神代の羽場鶴三氏が高知県で栽培されていた、中国栗品種の「傍土360号」を地元である哲西町に持ち帰り、栽培に成功したことから始まったとされています。現在では全国で唯一、新見市哲西地区のみで栽培されています。生産量が極めて少ないため「幻の栗」とも呼ばれており、大粒で渋皮がむけやすく甘みが強いのが特徴になっています。

全国から需要がありながら生産農家の高齢化による労働力の低下により、ますます供給が難しくなっているという哲西栗生産組合からの声があり、健康の森学園が栽培して哲西栗生産組合に供給することになりました。

哲西栗が本格的に収穫できるようになるまで約5年。健康の森の新たな特産品になるよう園生が大切に育てていきます、利用者の授産工賃支給額の向上とともに、地域おこしとなって新見市の発展につながればと考えています。

ネイチャートレイル & 山菜採り

4月23日（土）に『健森応援団』の体験活動「ネイチャートレイル&山菜採り in 健康の森」を行いました。健康の森学園元職員の大橋日出男さんを講師に迎え、もやいの森を散策すると共に、「タラの芽」や「こしあぶら」などの山菜を採りました。採った山菜は天ぷらにし、参加者全員でいただきました。哲多地域や哲西地域から一般の方が多く参加してくださり、健森応援団員と園生との交流が深まりました。



平成28年度

平成28年10月 6日現在

健森応援団取組の概要

- 健森応援団団員数 38名
- 会計報告
収入 177,940円（繰越金、本年度団費）
支出 61,990円（「森のおみせ」運営補助、郵券代等）
残金 115,950円
- 活動の実際
① 第3回体験活動『ネイチャートレイル&山菜採り』
平成28年 4月23日（土） 28名参加
② 障害者週間街頭キャンペーン
平成28年12月 5日（月）～ 新見市内他
③ 第4回体験活動『キムチづくり』
（計画中）